

(様式3)

平成20年度 荒川区立第三中学校 「未来を拓く子どもの育成」成果と課題

事業名	事業の概要・実施	予算執行	事業成果
「おもしろ探究授業」	教科教室型校舎を生かした「おもしろ探究授業」の充実。理科を中心に、スポーツ選手、ものづくり、食育等の専門家に講師を要請し実施する。	消耗品費（筆の糸代他） 予算：168,000 決算：167,998 報償費（講師報償費） 予算：130,000 決算：120,000	「おもしろ探究授業」を各学年ごとに計16講座を3日間にわたり実施した。今年度は特に食育、和楽器等、教科の幅を広げた。特に三味線は全学年で実施した。 1年生講座：「深海の世界」「ロボット」「おいしさの科学」「三味線」「木材加工」 2年生講座：「人間と電気」「生命・進化」「エコ発電」「電気工事」「エコクッキング」「三味線」 3年生講座：「宇宙」「人間の不思議」「三味線」「バスケットボール」「裁判員制度」
「環境」学習の推進	国交省の「環境交通モデル地区」の研究を推進する。講師を呼び環境学習を推進する。	予算： 環境課予算で執行 決算：	2年目の「環境交通」の取り組みとして、テーマを4つに絞り、環境学習に取り組んだ。校内の発表会とともに荒川区環境学習発表会で成果を広く区民に公表した。 テーマ①汐入おすすめウォーキング ②自転車シェアリン ③エコポイントシステム ④カーフリーゾーン
「校内ハローワーク」	30業種の講師による職業講話授業を実施。 本年度は、汐入小学校6年生も参加し、小・中学生でのキャリア教育の連携を図る。	報償費（講師報償費） 予算：105,000 決算：55,000 (一部辞退者あり)	本年度は、11月11日、30業種36名の方による職業講話授業を実施した。全校縦割りでグループ活動をさせ、3講座を受講させた。 本年度は、初めて汐入小学校6年生も参加し、小・中一貫のキャリア教育の研究を深めた。この成果については、2月9日小中一貫教育研究の中間発表会で広く公表した。
マレーシアと生徒会交流	マレーシアとの交流を通じて国際感覚を磨く。	予算：なし 決算：	マレーシアの学生と生徒会を中心とした生徒間交流を促進し、輝汐祭（文化祭）で交流の状況を報告した。